

歴史とまちづくり活動の経緯

1. 周辺環境とまちなみ形成の経緯

1) 糟屋郡粕屋町（花ヶ浦）の歴史及び周辺環境

1878年（明治11年）11月

福岡県で郡区町村編制法施行により、行政区画としての糟屋郡（福岡県（筑前国））が発足。

1960年（昭和35年）頃迄炭鉱と農業の町。

1975年頃～：福岡市のベッドタウンとして開発が進み人口が急増。

2010年（平成22年）

20年後も人口増加が推計⇒粕屋町都市計画基本方針の見直しを行う。

⇒指針「まちと緑がとけあうコンパクトシティ かすや」

①力あるまち ②緑のまち ③質の高い暮らし のまちを推進。

<周辺環境>



2) まちなみ形成の時期と計画

(1) 形成の時期

2011年

粕屋町土地開発公社が、公募により事業者のアイデアと工夫を取り入れ、町・公社・民間事業者（九州セキスイハイム不動産㈱）が連携し、「水と緑豊かな粕屋町の環境を次世代に引き継ぎ、互いに支え合って暮らす住民」を目指すとした「おひさまのまち花ヶ浦 タウン憲章」に基づくまちづくりとなっています。

- ・面積：約2.4ha・総区画：84区画・区画面積：200.32㎡～266.91㎡（約60～80坪）
- ・管理組合：組合費 月額4,000円
- ・まちなみルール：街づくり規約・まちなみガイドライン
- ・売主：九州セキスイハイム不動産㈱ 販売：2012年3月～

(2) まちなみ計画

- ・粕屋町が策定した将来構想図にある、駕与井丁公園を中心としたグリーントライアングルの形成に寄与する花と緑をテーマにしたまちなみ計画
⇒樹木の成長に伴う経年美化による、将来にわたるまちの価値の維持に貢献
- ・近隣コミュニティを育むコミュニティグリーンを配置
⇒隣地間で樹等を借合う計画で、子供達やご近所と一緒に樹木や花を大切に育てる
- ・全邸でソーラー、HEMS、蓄電池の搭載しCO2削減計画で環境にも寄与したまちづくり
⇒機器類配置に配慮を施し、快適なエコロジーライフと美しいまちなみ景観を両立

2. まちづくり活動の経緯

1) 活動の開始時期と活動の経緯

まちの維持管理と管理組合（設立準備：事業者 九州セキスイハイム不動産㈱）

【2013年】 ・管理組合設立 入居者45世帯でスタート

・委員：委員長1名、副委員長1名、会計委員1名、委員2名、監査1名

・5月：「おひさまのまち花ヶ浦」街づくり組合臨時総会 開催

組合規約・H25（2013）年度 活動計画・行事予定・予算等決定

・11月：「ガーデニング教室」開催 コミュニティ形成活動

【2014年～】 ・3月：定期総会開催

以降、組合規約等に基づき、各種まちづくり活動を継続し、現在に至る

2) 現在の組合概要

(1) 組合員数：84世帯

(2) 年間予算：約460万円

3) 現在の活動状況

【おひさまのまち花ヶ浦 街づくり組合（花ヶ浦16組）】

- ・役員選考会議：1回/年 新旧役員引継ぎ 3月
- ・環境美化作業及び公園花壇の苗植え会：2回/年
- ・消火栓の取扱い講習：1回/年
- ・屋外懇親会（クリスマス会・敬老会等）6回以上/年
- ・近隣地域活動：花ヶ浦区 総会・運動会・新春のつどい 各1回/年
- ・粕屋町活動：4回以上/年

4) 今後の活動方針

「おひさまのまち花ヶ浦 タウン憲章」に基づき、協働のまちづくりに引き続き取り組んでいきます。おひさまのまち花ヶ浦でのコミュニティ活動を他地域のモデルとするべく、鋭意取り組んでいくとともに、他地域との交流深化を図ります。また、緑豊かな美しいまちなみ維持と安全で持続可能な地域を目指し、行政や事業者とも連携しながら、活動していきたいと考えます。

